

# 常磐每日新聞



## 迎年の辭

乾坤茲に一轉して、瑞祥爰々たる昭和辛未の新天地を  
 迎ふ。  
 皇紀實に二千五百九十有一年、皇統連綿として皇室の  
 歳と共に彌榮をますを、先づ以て御壽ぎまつると同時に  
 我が國運の隆昌を賀し併せて本紙讀者諸彦の清福を祝す  
 世界無比の國體、是れ實に我國民の至大の誇りである  
 上に萬世一系の皇室を戴き、天資英邁、しかも御年未だ  
 若く御意氣御旺盛にまします聖天子の御稜威は、四海萬  
 民に洽く光被す。斯の如く殊に天寵の豊かなる國民を、  
 世界のいづれの國土に見出すことが、出来やうぞ。吾等  
 の至幸、是れ蓋し年頭慶賀の第一に擧ぐべきである。  
 而して更に、我が國運の隆昌に至つては、或は經濟難  
 思想難を數へて國歩甚だ苦難多しとなす者がないではあ  
 るまいが、然しながら、人口の増加は最近の國勢調査に  
 據つて、年々八十四万の多數を算すること明確となり、  
 民族の繁榮底止するところを知らざらんとし、國際間に  
 於ては、三大國の一として世界に重きをなすに至つたこ  
 とに依つて觀ても、國運の進展著しきものあることは何  
 人にも明瞭なる處である。  
 少くとも世界大勢の指導者たる地位を占め得たことは、  
 是れ豈國運の大進展でなくて何であらう、勿論舊歲に  
 於る不況深刻、勞資爭議の頻發、其間に乘ずる危険  
 思想の侵入等は、國運進展上の一障礙であるには  
 相違ないが、然しながら特殊の國體による國體の  
 鞏固は爲めに何等寸毫の脅威をも受くることな  
 く、我國運の隆昌益々加はるべきこと疑ひな  
 い。是れ實に新年慶賀の第二に擧ぐべき我  
 國民の至幸である。  
 新曙光に浴して萬象一新せる昭和第六春  
 を迎へたる今日、杞憂は之れを一擲し  
 て、吾等は前途の洋々たるを望んで  
 勇往邁進し、吾等の至幸至福を滿喫  
 しやうではないか。謹んで年頭祝  
 賀の意を表す。



### 平町の重要案件は 相續いて解決

#### 教育施設は一段落

#### 平町長伏見彦衛氏談

昨年中に於ける本町自治の跡を回顧するに財界不況に基く地方

財政緊縮の影響は

本町政運用の上に多少の支障を興へた點が無いとは申せぬが幸にして本町重要案件は相續いて解決の曙光を見るに至つた即ち町立商業

五年制甲種に昇格し第三小学校相並んで完成を告げ昨春四月より實施開校を見、本町教育施設に一段落を劃した又數年來苦心に成る上水道

擴張計劃も亦既に認可着工の運びに至つたのは孰れも本町の福利増進に寄與すること大なるを將來に約するものにして本町の爲慶福に堪えざるところである、此れ町民各位協調職

がある本町の責任愈々重大なりと言ふ可きである

#### けふの新年 名刺交換會

恒例有志の新年名刺交換會は今日午前十一時から聚樂館で開催するが會員約五百名で先づ遠藤助役の開會の辭伏見長町の祝辭續いて武田檢事の發聲で萬歳三唱後宴會に移り平藝妓連の手踊り其他余興あり盛會を豫想されてゐる

### 平消防の出初め

#### 今年六日の火防デーに 小學生も旗行列

#### 恒例の平消防組出初式は例 月四日に舉行したが今年 光榮の御親閲を記念して全 國一齋に行はる六日を以て 私設消防組並に

恒例の平消防組出初式は例月四日に舉行したが今年光榮の御親閲を記念して全國一齋に行はる六日を以て私設消防組並に

#### 火防組合

を合せた約三千の組員に依り火災豫防の大宣傳と共に盛大に舉行される筈で當日は壯絶なはし子乗り其他例年通り

### 年頭の特別取締 犯罪を未前に

#### 非番巡查を召集して 萬一の場合を警戒

平警察署では舊臘二十九日より向ふ一週間非番巡查を召集して年末年始に際して特別取締を行ひそれらの方法をもちて警戒してゐるが、犯罪發生後犯人を検挙するよりも事前に、これを防止する方面に力を入れてゐるので、各自も夜間外出の場合は戸締りを嚴重にまた就床前には戸締りの如何を調べて大金等は子供等に所持せしめず、また大金を所持せる場合には相當注意すること、詐欺の巧な手段にかゝらぬやう

すべて注意をなすこと、萬一被害のあつた場合には直に警察署に訴へ出るやうにすること等である

### 水道工事は 五日から

#### 大いに進行

平町上水道擴張工事も晴天續きに恵まれて抄り第一工區の鐵管布設工事も既に二百間餘の延長に及び第二工區の淨水池方面の掘鑿工事も着々進捗三十日以内の工事を休み一月の五日から始めることになつてゐるが労働登録者も支障のなきものは全部に亘つて使用した現在は一、二の工區を通じて六十四五人である

### 年賀状

#### 昨年と大差なし 同員汗かく

平郵便局では去る二十日の年賀状特別取扱開始以來連日押寄する賀状の洪水で田村局長以下全員汗だくの活動を續けてゐる緊縮の虚禮廢止の騒がれ乍ら何等それらしい影響も見えず最終日の二十九日の如きは午前

### 變つた組合

#### 川前村で 灰取りを

石城郡川前村字澤尻方部

### 正月には 食過ぎ 御用心

毎年々末からお正月にかけての特有の現象として、腸チブスと感冒が激増するがこれは大體生魚や酢の物に

宇佐美寛氏が組合長となり灰取組合を設立し主として婦女子を中心に毎日必ず爐灰を十能に一つづつ取る事を申合せ去る十一月一日より實施しつゝあるが有用なる加里肥料の貯蓄と云ふ事は現下の不況對策として農村には非常によい自給肥料の奨励となり今ではその取灰が數十俵に達し一俵約四十錢に見積つても廿餘圓となつてゐると

### 謹啓

#### 常警毎日印刷株式會社

- 取締役 川崎 文治
- 取締役 佐々木 龍若
- 同 志賀 盛榮
- 同 門傳 清吾
- 同 原 精一
- 同 山崎 清三
- 同 阿部政右 工門

一月二日午前九時より第三十三回同窓會を開催す此の廣告を以て通知に代

#### 磐城結賢學舍同窓會

發行兼編輯人 川崎 文治  
發行所 常警毎日印刷株式會社  
印刷所 常警毎日印刷株式會社  
電話 六三〇番

# 新年文藝入選發表

## 和歌 羊、山

高久晚霞選

一等

平窪 矢吹紫水  
おこそかなものにぞ見ゆる  
ほのぼのと初日さしそわか  
かつきの山  
一しほに今朝は美しとほ山  
のいたゞき染めて初日のぼ  
れば

二等

平 鈴木喜佐  
羊群るる牧場に春の訪れて  
藁の下草萌え初めにけり  
神谷 山下多賀子  
子羊が乳ふくむとき房々と  
母の胸毛の地に垂れにけり

三等

平 鷹木静光  
つんざける百舌の一聲こだ  
ましてかすか陽さしぬ霜枯  
れの山  
平濁 たけを  
牧笛にひかれて歸る群羊の  
柔毛ぬくと夕陽さすなる  
磐女 草野知代  
高原の牧場に初日輝きて白  
く群れ居る羊美し

選者詠

東山にて  
温泉の街をめぐる山早く紅  
葉して青空高くそそり立て  
るも  
風寒き大曠原に群羊の仰ぐ  
雪の嶺陽にかゞやけり

## 童謡 正月

川崎小鳥選

一等

十歳 久保木ヨネ  
お正月はどこから来るの  
朝くるの？、夜くるの？  
お餅をどつさり持つて来て  
重くないのお正月

二等

十歳 佐藤 茂  
お正月来たよ  
さんがしんねんきたよ  
まんざいさんきたよ  
姉さんのはねつく音だよ  
お正月来たよ  
さんがしんねんきたよ  
十五才 鈴木勘次  
小雪さらりと正月の空に  
舞つてちらりと木枝に止る  
樂し正月が明け初めた

三等

十一歳 萩原次子  
川の向ふの猫柳  
なんだかニョ〜  
して居るよ  
そろ〜正月が  
くるので一人  
喜んで居る  
十五歳 森 林一  
一、「ベッタトン」といふ  
音で  
お目をあければもう十五  
昔の事を考へりや  
元服、初陣、大したもの  
よ  
二、僕等十五で上級生よ  
親切、丁寧、第一に小い

## 俳句 若菜 春着

渡邊何鳴選

天

小高 半谷絹村  
明き灯に春着競ひて集ひた  
る

地

平 阿部芳月  
若菜東雪振り落し敷へけり  
平 片寄市三郎  
繪草紙に春着の膝をすりよ  
せぬ

人

中村 佐藤豊三  
春衣裳鹿狼の峯の雪晴れて  
平 渡邊 清  
唄につれて踊る小猿の春着  
かな  
龍田 岡部二葉  
雪うすき藪の表の若菜かな

選者吟

さら〜と戸細の雪や若菜  
籠  
春着妻輕さけはひにつま  
しく

## 詩

片寄歌二選

兒童と授業(一等)

平 藤村昌一  
眠くてたまりません  
楠木正成のお話は良き子守  
唄です  
み〜ずの解剖圖なんか先生  
僕見たくないんです

## 短歌 光

白木英尾選

平 園田綾子

裏の  
裏の斜面  
春らしいかげらうがゆれて  
る  
あ、  
青い空にガラス窓が遠いな  
終業の鐘が鳴りましたから  
もう一人の僕よ  
おつかさんの膝から歸つ  
ておいで  
歩調をとつて、手を振つて  
さあさあ机の上へおへで  
僕はランドセルと共にそれ  
を肩にします。

紅梅のある道

この草の上で、ね先生  
猫と鴉がじやれてゐて  
鴉が猫の毛を一本抜いたの  
紅梅の下でうつとりと  
人形を抱いてゐた少女は  
ふと思ひ出したのです。

春 (二等)

茨城 古川哲史  
青空を渡る風  
高い木立は一本きり  
のびる芽は赤い  
幌馬車はゆれゆれ  
小徑は遠くつ〜く  
暖道にびよんと青蛙  
田の上を明るさがかすめる  
地は動悸して  
ほんのりと赤らむ肌  
(素足にしみこんだ感觸は  
とても素的である)

雲はみんな去つて  
新しくなつた世界

猿まわし(三等)

平 古澤多見江  
猿まわしがぐつすと寝つ  
てゐる  
猿まわしの顔は疲れてゐる  
その顔の下に  
おしつぶされた猿の顔は  
ちぼんだなすびだ

## 謹賀新年

平町會議員一同

有限責任  
信用組合 平庶民金庫

福島縣石城郡平町十五丁目二

松本 徳一

石城郡平窪村

高橋 龜松

福島縣平町白銀町  
電話 六三八番

村會議員 佐藤 三平

石城郡内郷村

片倉磐城製糸株式會社

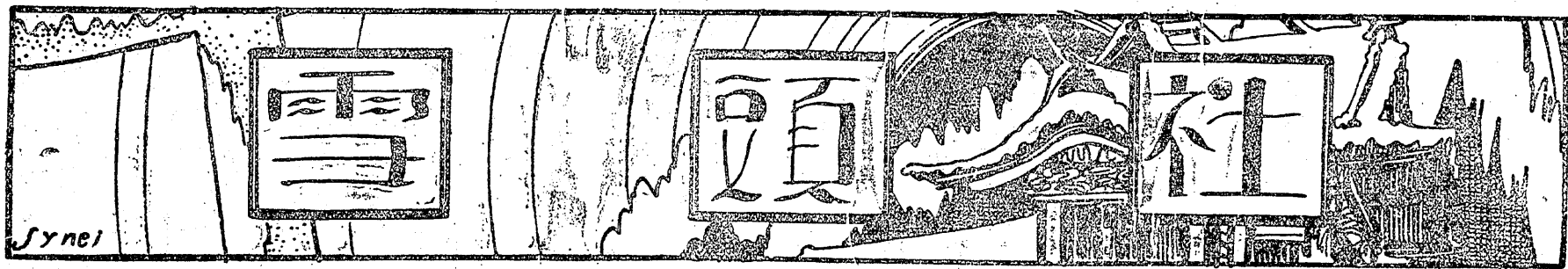
質貨 質貨  
債券 債券  
替 替  
多田井商店

平町 大工町  
電話 五九一番

磐城建物株式會社

取締役 井上貞治郎  
支配人 平町電話五一八番





**渡邊**  
小兒科醫院

平町 鼠坂  
電一六一番

**神谷**  
齒科醫院

神谷 長夫  
古鍛冶町

**安齋**  
外科醫院

平町 田町  
電四七五番

**木村**

外科醫院

平町 六丁目  
電三〇九番

**坂本**  
齒科 口腔外科

**醫院**

院長齒科醫師坂本惣次郎  
本院 石城郡草野驛前  
分院 双葉郡久八濱町

**實川**  
產科婦人科 醫院

平町 田町  
電二七〇

**原齒科**  
醫院

平町 土橋  
電三一一番

**吉村**  
綿店

平町 研町  
電二五七番

**榎田**  
榮太郎

木材石油香油各種油販賣  
磐城國平材木町  
電二四八番

秋田銘醸株式會社  
正田醬油株式會社 特約店  
大正正宗 發賣元  
英雄正宗

鈴木 本店

石城郡夏井村  
鈴木 支店  
平町 仲町

**青木**  
寫真館

平町南町公會堂前  
電四二二番

**吉村**  
四郎

平町 研町  
電四〇六番雜

**田卷**  
隆一商店

雜穀雜貨商  
たまきや號  
平町 紺屋町  
電六七一番

**諸橋**  
吳服店

平町 新川町  
電特長五〇

**大音**  
堂看版店

諸看板製作  
石版印刷  
鹽田勝治郎  
平町 白銀町

**小野**  
圍次郎

醬油釀造元  
電二五一番

**清野**  
彦四郎

古物問屋  
平長橋町六三

**仙臺**  
屋商店

海產物乾物商  
平町 長橋町  
電五四八番

**田邊**  
忠藏商店

電機諸機械商  
平町 白銀町十四  
電二九四番

**ベニヤ**  
小鳥店

平町 田町

**關内**  
半平

酒類 醬油味噌釀造元  
平町 長橋町  
電一六〇番

**松崎**  
長三郎

荒物陶器卸商  
新川町(電一七二)  
振替東京一五九九

**森下**  
商店

糸類教育玩具雜貨問屋  
まめや號  
平町 一丁目

**平**  
館

活動常設  
日活松竹  
松田印次郎  
電四六六番

**玉**  
よし

平町 南町  
電四二六番

**越**  
の家

御料理  
天ぶら  
平町 二丁目  
電三三〇

**武藏**  
鐵工所

チルド車輪製作業  
主 遠藤 稻吉  
平町 搔搥小路  
電五一四番

**和久井**  
屋漆器店

磐城平町一丁目  
電四〇五番

**柏木**  
支店

酒類 醬油味噌釀造元  
平町 長橋町  
電二四三番

**柴田**  
書店

マルトモ  
平町 四丁目  
電二三四番  
五九七番

**綠川**  
酒店

酒類 味噌  
綠川 茂  
平材木町

**影山**  
洋服店

平町 紺屋町

**玉**  
章堂

諸印版彫刻  
平町 三丁目

**住谷**  
直英

和洋商  
菓子商  
嘉味野屋號  
石城郡草野驛前

**丸市**  
屋本店

魚問屋  
志賀 盛榮  
平町 四丁目  
電二一三番

**大勝園**  
茶舖

平町 三丁目  
電三九六番

**吉村**  
商店

衛生綿糸類雜貨商  
平町 長橋町

**香**  
久山

會津 銘酒  
五十嵐文右工門  
平町 長橋町  
電一九七番  
產 姿 五十嵐テール

**み**  
ふみ屋

牛肉商  
平町 田町  
電三二三番

**藤**  
寅店

カマボコ  
平町 一丁目  
電一四一番

**坂本**  
紙店

平町 一丁目  
電一八番

**松崎**  
自動車部

貸切と貨物乗合  
電 四四九番  
三九二番

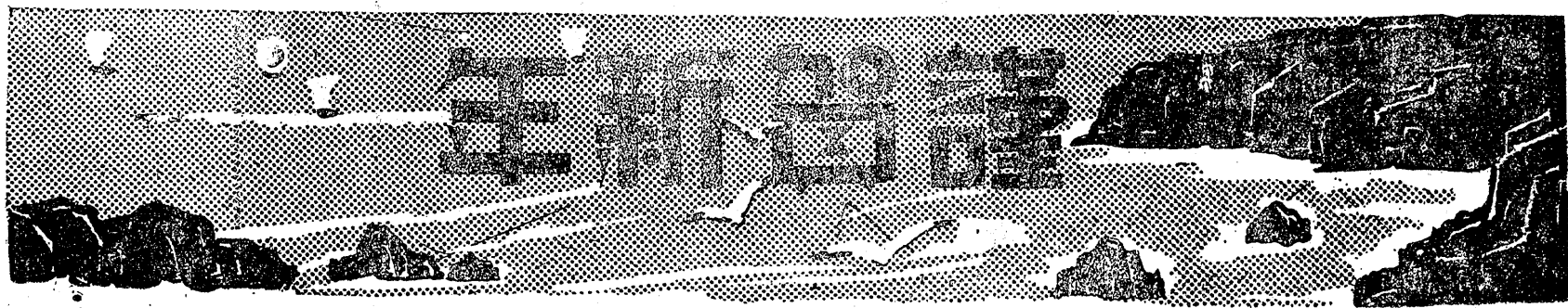
**宗像**  
金物店

諸金物商  
平町 研町

**市原**  
商店

海產物商  
平町 一丁目  
電二四四番





### 石城銀行組合

福島縣 石城支會  
町村長會

### 山崎登

石城郡 錦村



### 關内油店

日本石油株式會社特約店  
平町二丁目  
電話 十六番  
新山支店 電話三二八番  
關本支店 電話平鴻三番

### 江口忠一

土木建築 講負業  
平町搔槌小路

### 大一屋商店

荒物商 雜貨商  
平町二丁目  
電話十三番

### 平料理屋組合

### 平藝妓屋組合

平町長

### 伏見彦衛

### 阿部政右衛門

平町搔槌小路  
電話四五八番

### 高岡唯一郎

病中に付年末年始欠禮申上候  
草野村

### 佐々木龍若

喪中に付歳末年始欠禮仕候  
平町四軒町

### 清野キヨ

平産科婦學校長  
看護婦

### トキワヤ

眼鏡卜時計  
平町一丁目  
電話三三九番

### 中野洋品店

平町二丁目  
電話五三番

### 岡山寫真館

西洋料理  
平南町川岸通り  
電話六一五番

### カフエー

### 松ヶ岡

平町公園前

### 關内精米所

平長橋町  
電話三八九番

### 平樂亭

西洋支那料理  
新川町

### 鶴屋商店

平町四丁目  
電話一四〇番

### 株式百澤商店

平町四丁目  
電話一二番

### 石川亭

牛島御料理  
田町 電話四三番

### 小松崎

### 洗張本店

二丁目  
電話三七九番

### 柏屋染物店

阿部傳六  
平町材木町

ある、此れ町民各位協働

はし子乗り其他例年通り

の所で無料公開をなす筈であ

日の二十九日の如きは午前

石城郡川前村字澤尻方部

磐城法賢學舎同窓會

發行兼編輯人印刷人  
福島縣石城郡平町三丁目三五番  
電話六三〇番  
印刷所 常磐毎日新聞社  
印刷所 株式會社



衆議員議員

木村清治

縣會議員

山崎吉平

縣會議員

古川傳一

縣會議員

鈴木辰三郎

石城郡山田村

安島重三郎

植田水力電氣株式會社

社長 金成通

石城郡小名濱町

小野晋平

福島縣石城郡内郷村

磐城炭礦株式會社

鑛業所

石城郡湯本町

入山探炭株式會社

鑛務所

小田炭礦株式會社

萩原鑛業所

古河炭礦

好間鑛業所

東部電力株式會社

平營業所

福島縣石城郡平町五丁目

小田吉次

石城郡好間村

平町公立

學校長

懇和會

石城郡第二區

小學校長會

石城郡第三區

小學校長會

石城郡第四區

小學校長會

平町

旅館業組合

平町西洋

料理屋組合

草野染工場

磐城平町鎌田町  
電話四三八番

平運輸株式會社  
平驛前

和洋酒醬油  
イワサキヤ  
平鎌田町  
電一八三番

藤浪電氣工業所  
平町白銀町  
電五八一番

昭タクシー  
丸山昌平  
平驛前  
電話三四三番

京屋洋服店  
平町材木町二  
電話四二八番